校長挨拶

本校ホームページにアクセスいただき、ありがとうございます。

本年度より校長を拝命いたしました下野智昭と申します。以後、八重山商工高校共々よろしくお願いたします。

本校、沖縄県立八重山商工高等学校は、昭和42年に開校し、今年で創立59年を迎える歴史ある学校です。日本最南端の高等学校として、八重山地区における商業および工業教育の中核を担い、地域に根ざした実践的な教育を行っております。

本校には全日制課程と定時制課程が設置されており、全日制では商業科と工業科、定時制では商業科が設けられています。それぞれの課程において、生徒たちは専門的な知識・技術の習得に努め、将来の進路を見据えた学びを深めています。

また、部活動においても全国レベルで活躍しており、平成18年には野球部が春・夏の甲子園大会に出場し、地域に大きな感動と誇りを与えてくれました。さらに、平成19年には郷土芸能部が全国高等学校総合文化祭にて文化庁長官賞を受賞するなど、学業のみならず文化・スポーツの分野でも目覚ましい成果をあげています。

校訓である「友愛津梁」には、「友愛の精神を以て、広く世界を結ぶ架け橋となり、有為な人材となる」という意味が込められています。この精神のもと、私たちは地域を大切にしながらも、グローバルな視野を持った人材の育成にも力を入れています。

アジアの中心であるここ沖縄・八重山において、本校では観光コースを中心に中国語教育を取り入れ、台湾の国立花蓮高級中学（旧：省立花蓮高級中学）との姉妹校交流や訪問を通じて、国際的な視野を広げる貴重な学びを提供しています。こうした継続的な親善交流は、生徒たちの国際感覚を養うとともに、平和と友好の架け橋として大きな意義を持っています。

今後も本校は、「地域に愛され、世界とつながる学校」として、生徒一人ひとりの可能性を大切にし、未来を担う有為な人材の育成に努めてまいります。引き続き、皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年4月14日

沖縄県立八重山商工高等学校

校長 下野 智昭